

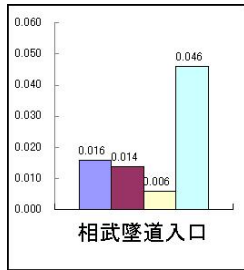
## 平成28年6月期のNO<sub>2</sub>定点測定結果まとめ

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所50箇所に 二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は晴れ、4から6m/sの風の中での測定でした。

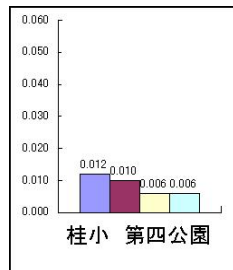
以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。

いずれも環境基準内におさまっております。

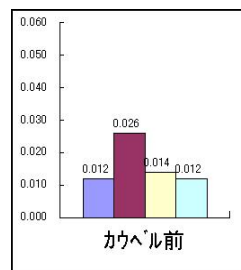
環境基準:0.060ppm (0.020ppmが最初の基準、達成できず、緩和された)



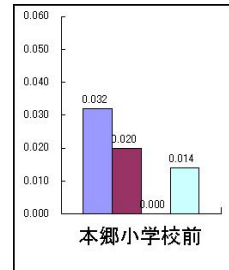
①



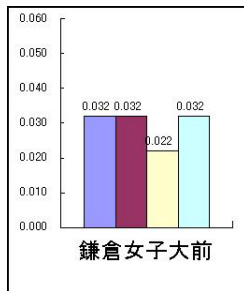
②



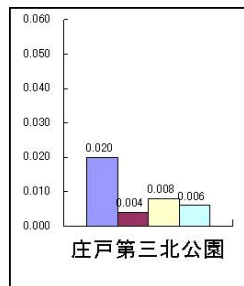
③



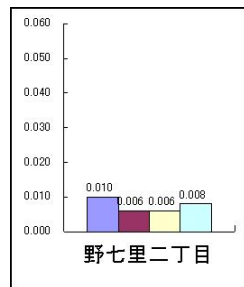
④



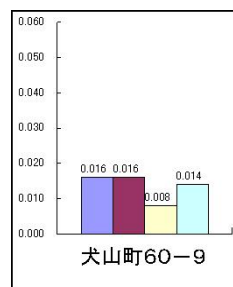
⑤



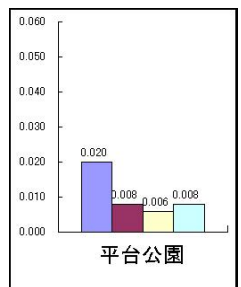
⑥



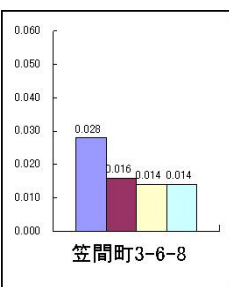
⑦



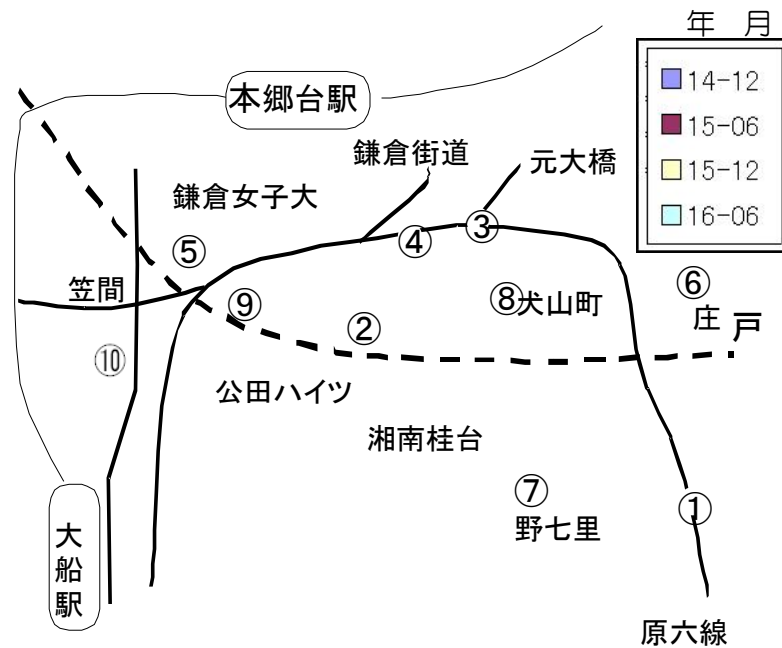
⑧



⑨



⑩



### 二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。

カプセルの準備(木)。カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に分けます。測定(木⇒金)。各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後回収します。分析(土)。カプセルに試薬を加えると、ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。

注 の総武隧道入口の濃度が高いが、トンネルは南北に通じており測定当日は南風が強く、トンネル内NO<sub>x</sub>が北方面の測定値に集積した可能性が高い。